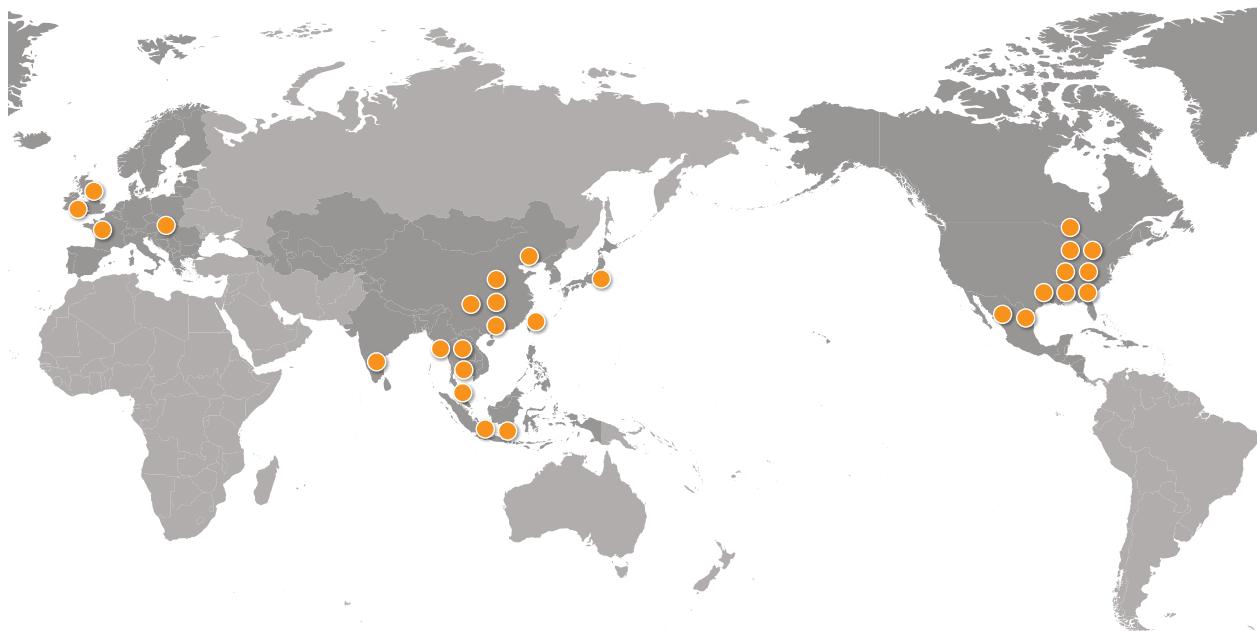


Kasai

第 88 期 中間報告書

(自 平成30年4月1日)
(至 平成30年9月30日)



河西工業株式会社

証券コード No 7256

株主の皆様へ

社訓

1. 社会の信用を “Gain Trust from Society”
2. 企業の繁栄を “Seek Prosperity for Company”
3. 相互の幸福を “Share Happiness with Everybody”

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第88期第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年9月30日）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では保護主義的な通商政策による米中経済の対立が激化しつつありますが、製造業は好調を維持し、雇用・所得環境の下支えによる個人消費の伸びもあり、堅調に推移しました。中国では、個人消費は堅調なもの、貿易摩擦の影響による輸出の鈍化があり、景気は減速傾向となりました。欧州においては、ユーロ圏では、製造業を中心に成長ペースが減速しました。英国では政治の先行き不透明さが影響し成長は横ばいで推移しました。

我が国経済においては、自然災害による影響がありましたが、企業業績が堅調に推移したことから、雇用・所得環境が改善、個人消費は底堅く推移し、緩やかな回復傾向を維持しました。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場の新車販売市場の冷え込みがあり、中国においては市場の拡大が鈍化しております。一方日本市場においても国内向けの乗用車の新型車効果が一巡し、さらに米国向けの輸出が減少し全体で生産台数が微減となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、日本及び北米セグメントでの減収の影響により、1,121億95百万円と前年同四半期に比べ1億98百万円（△0.2%）の減収となりました。営業利益は、56億81百万円と前年同四半期に比べ28億30百万円（△33.3%）の減益となりました。経常利益は、59億43百万円と前年同四半期に比べ28億72百万円（△32.6%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、24億18百万円と前年同四半期に比べ25億98百万円（△51.8%）の減益となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

経営理念

河西グループは誠意と新しい技術の創造によって価値ある商品、サービスをグローバルに提供し、顧客、株主、従業員をはじめ、全ての関わる人々の幸福を実現します。



代表取締役会長
最高経営責任者
渡邊 邦幸

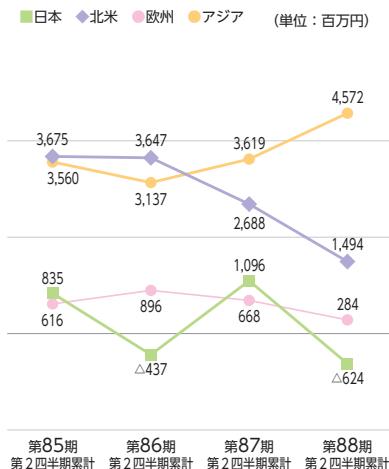
代表取締役社長
最高執行責任者
堀 浩治

セグメント別業績

セグメント別売上高 (連結)



セグメント別営業利益 (連結)



得意先別売上シェア (連結)



(注) 第87期から当社グループ内の業績管理区分を一部見直し、KASAI INDIA (CHENNAI) PRIVATE LTD.を、アジアから欧州のセグメントに変更いたしました。これに伴い、第86期以降の数値は、同社を欧州のセグメントに含めていますが、第85期は、アジアのセグメントに含めております。

(日本)

日本市場では、軽自動車販売は好調を維持しましたが、登録車が新車効果の一巡に加え、輸出車種の減産により、売上高は304億52百万円と前年同四半期比24億89百万円の減収(△7.6%)となり、売上減収に加えて新車立上げ費用の負担により、6億24百万円のセグメント損失(前年同四半期は10億96百万円のセグメント利益)となりました。

(北米)

アメリカ市場では、SUVへの需要シフトでの乗用車需要の大きな落ち込みのため、当社受注車種の減産により、売上高は495億63百万円と前年同四半期比21億95百万円の減収(△4.2%)となり、労働市場の逼迫に加えて新車立上げのための習熟人員確保による労務費の増加、販売車種構成比の変化による材料比率の悪化もあり、セグメント利益は、14億94百万円と前年同四半期比11億93百万円の減益(△44.4%)となりました。

(欧州)

欧州市場では、新たな燃費試験法による前倒し需要などにより、自動車販売は前年比で増加となりました。当社では金型売上の増加もあり、売上高は83億47百万円と前年同四半期比6億84百万円の増収(+8.9%)となりましたが、新拠点立上げに伴う費用の増加により、セグメント利益は、2億84百万円と前年同四半期比3億84百万円の減益(△57.5%)となりました。

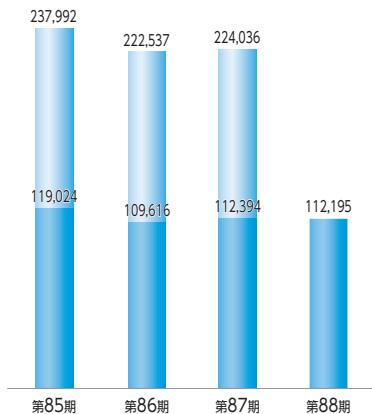
(アジア)

中国市場では、市場の拡大は勢いを失いつつありますが、当上期においては前年同期を上回る新車販売台数を維持しております。このような市場環境において、当第2四半期連結累計期間では、売上高は238億31百万円と前年同四半期比38億1百万円の増収(+19.0%)となり、セグメント利益は45億72百万円と前年同四半期比9億52百万円の増益(+26.3%)となりました。

財務ハイライト (連結)

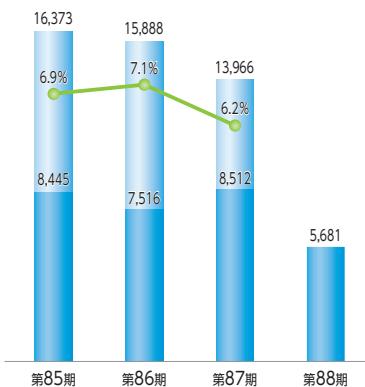
売上高

■第2四半期累計 ■通期 (単位：百万円)



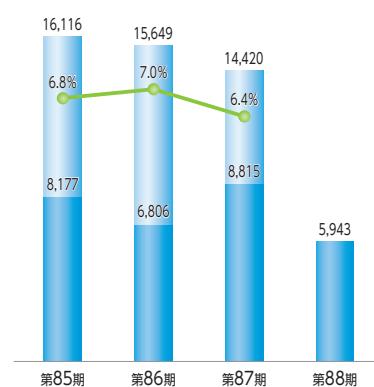
営業利益 / 通期営業利益率

■第2四半期累計 ■通期 (単位：百万円)
●通期営業利益率



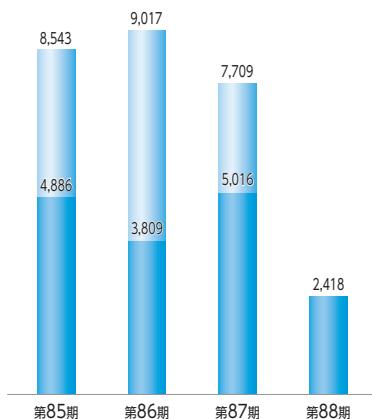
経常利益 / 通期経常利益率

■第2四半期累計 ■通期 (単位：百万円)
●通期経常利益率



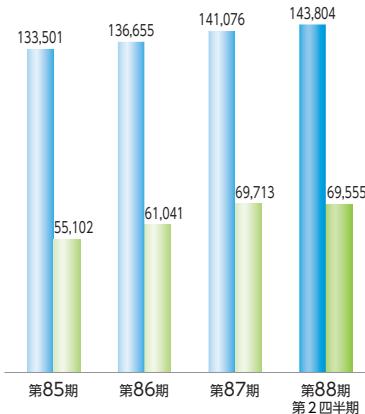
親会社株主に帰属する当期純利益

■第2四半期累計 ■通期 (単位：百万円)



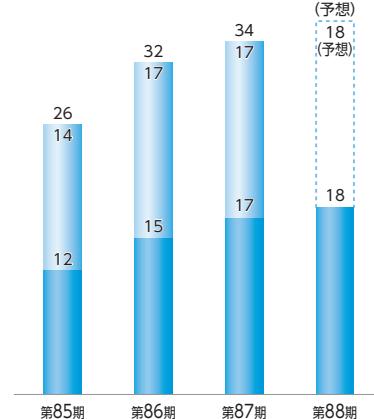
総資産 / 純資産

■第2四半期 ■期末 (単位：百万円)
■第2四半期 ■期末



配当金

■中間 ■期末 (単位：円)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

| | 第88期第2四半期 2018年9月30日 | 第87期 2018年3月31日 |
|----------------|-------------------------|--------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 69,240 | 65,845 |
| 固定資産 | 74,563 | 75,230 |
| 有形固定資産 | 62,096 | 61,617 |
| 無形固定資産 | 1,534 | 1,572 |
| 投資その他の資産 | 10,933 | 12,040 |
| 資産合計 | 143,804 | 141,076 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 51,921 | 50,896 |
| 固定負債 | 22,327 | 20,466 |
| 負債合計 | 74,248 | 71,362 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 61,711 | 59,878 |
| 資本金 | 5,821 | 5,821 |
| 資本剰余金 | 5,851 | 5,809 |
| 利益剰余金 | 50,592 | 48,832 |
| 自己株式 | △553 | △585 |
| その他の包括利益累計額 | △519 | 1,151 |
| 新株予約権 | 12 | 29 |
| 非支配株主持分 | 8,351 | 8,654 |
| 純資産合計 | 69,555 | 69,713 |
| 負債純資産合計 | 143,804 | 141,076 |

(注1) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
(注2) 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| | 第88期第2四半期累計 自2018年4月1日 至2018年9月30日 | 第87期第2四半期累計 自2017年4月1日 至2017年9月30日 |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 112,195 | 112,394 |
| 売上原価 | 97,356 | 94,797 |
| 売上総利益 | 14,838 | 17,596 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,157 | 9,084 |
| 営業利益 | 5,681 | 8,512 |
| 営業外収益 | 483 | 526 |
| 営業外費用 | 221 | 222 |
| 経常利益 | 5,943 | 8,815 |
| 特別利益 | 36 | 211 |
| 特別損失 | 52 | 212 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,927 | 8,814 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,072 | 2,431 |
| 法人税等調整額 | 186 | 378 |
| 四半期純利益 | 3,668 | 6,004 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,250 | 988 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,418 | 5,016 |

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| | 第88期第2四半期累計 自2018年4月1日 至2018年9月30日 | 第87期第2四半期累計 自2017年4月1日 至2017年9月30日 |
|---------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,645 | 9,458 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,709 | △6,347 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,514 | △3,701 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △526 | △275 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,924 | △865 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 17,990 | 14,285 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 19,915 | 13,420 |

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

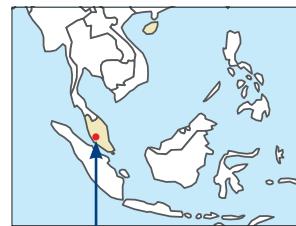
トピックス

1. Kasai Teck See (Malaysia) の増資によるマレーシア、アセアン地域での運営強化

当社は、アセアン地域での事業拡大を図るため、Teck See Plastic Sdn. Bhd.（本社：マレーシア）と提携関係を結び、2007年にタイ、2009年にはインドネシアにそれぞれ合弁会社を設立し、マレーシアには2012年にKasai Teck See (Malaysia) Sdn. Bhd.（以下、“KTSM”）を設立しました。

KTSMは、現地自動車メーカー向けの内装部品の製造販売に加えて、マレーシアにおける日系自動車メーカー向けの取引についても、着実に拡大を図ってまいりました。当社が保有する設計や生産の技術・ノウハウを更に活用して、お客さまからのご期待にお応えするために、当社はKTSMの事業運営の強化を目的として、KTSMが新たに発行する株式1,000,000株を、2018年10月に取得いたしました。これにより、KTSMに対する当社の出資比率は、25%から37.5%に増加いたしました。

今回の増資引受により、当社はKTSMの事業運営体制をさらに強化しながら、マレーシアにおける内装部品事業を拡大すると共に、ここを梃子として、アセアン地域全体での事業拡大に繋げていきたいと考えております。



Kasai Teck See (Malaysia) Sdn. Bhd.

2. KASAI MEXICANAがHonda “Excellence in Delivery and Quality Award”を受賞

当社の100%子会社で、メキシコの自動車メーカー向けに自動車内装部品を製造販売しているKASAI MEXICANA S.A. DE C. V.（以下、“KMEX”）は、2018年4月にHonda North Americaから“Excellence in Delivery and Quality Award”を受賞いたしました。本賞は、“Quality”と“Delivery”という2部門でのKMEXの活動が高く評価され、2部門の同時受賞となりました。

KMEXは、今後も品質を始めとするお客さまからのご期待に沿うべく努力し、引き続きお客さまの信頼を勝ち取り、取引の拡大を図ってまいります。



受賞トロフィ

3. KASAI UKが“Jaguar Land Rover Quality Award”を受賞

当社の100%子会社で、主に英国日産、英国本田、ジャガー・ランドローバー（以下、“JLR社”）向けに自動車内装部品を製造販売しているKASAI UK LTD（以下、“KUK”）のMerthyr工場は、2018年4月にJLR社から“Jaguar Land Rover Quality Award”（以下、“JLRQ賞”）を受賞いたしました。

JLRQ賞は、主要業績評価指標（KPI）を測るためのJLR社のサプライヤー管理システムで、生産能力、KPI達成度、および生産現場に関するサプライヤーのパフォーマンスを評価して授与されるものです。

KUKのMerthyr工場は、2016年3月からJLR社向けにトランク・トリム部品の供給を始め、わずか2年でJLRQ賞を受賞することができました。本受賞は、継続的に持続可能な高品質の部品供給を行っていることがJLR社から認められた証であります。また、今回のJLRQ賞受賞は、新規参入サプライヤー中、取引開始から最速での受賞と伺っております。

KUKは、今後もお客さまからの品質を始めとする各種要求事項に真摯に取り組む、欧州地域での更なる企業競争力の強化と事業拡大を目指してまいります。



JLRQ証明書

会社概要 (平成30年9月30日現在)

| | |
|---------|-----------------------------|
| 商号 | 河西工業株式会社 |
| 事業 | 自動車内装部品の製造・販売及びこれに付帯する一切の事業 |
| 創業年月 | 明治45年1月 |
| 設立年月 | 昭和21年10月 |
| 資本金 | 58億21百万円 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 |
| 従業員数 | 単独1,249名 連結9,182名 |

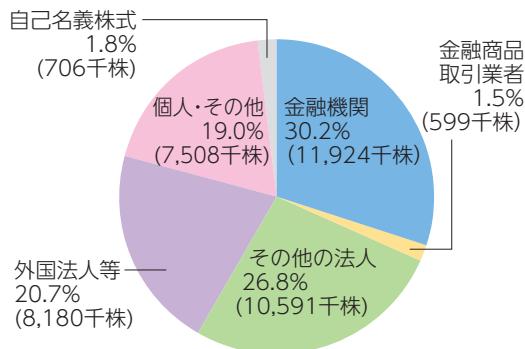
株式の状況 (平成30年9月30日現在)

| | |
|-----------|---------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 127,695,000株 |
| 発行済株式の総数 | 39,511,728株 (うち自己株式706,982株) |
| 株主数 | 8,499名 |
| 大株主(上位5名) | |

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--------------------------|----------|-------|
| 長瀬産業株式会社 | 5,404 千株 | 13.9% |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 | 3,927 千株 | 10.1% |
| 株式会社りそな銀行 | 1,825 千株 | 4.7% |
| 株式会社タチエス | 1,692 千株 | 4.3% |
| 株式会社横浜銀行 | 1,276 千株 | 3.2% |

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



事業所

| | |
|--------|---|
| 本店及び本社 | 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 電話 0467 (75) 1125 (総務部ダイヤルイン) |
| 寒川工場 | 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 電話 0467 (73) 2030 (管理課ダイヤルイン) |
| 寄居工場 | 埼玉県大里郡寄居町大字赤浜158番地 電話 048 (582) 3355 (代表) |

子会社 国内6社 海外13社

関連会社 国内3社 海外5社

役員

| | |
|-----------|-------|
| 代表取締役会長 | 渡邊邦幸 |
| 代表取締役社長 | 堀浩治 |
| 取締役専務執行役員 | 杉沢正基 |
| 取締役専務執行役員 | 半谷勝二 |
| 取締役専務執行役員 | 西川至 |
| 取締役 | 上島宏之※ |
| 取締役監査等委員 | 伊豆野学※ |
| 取締役監査等委員 | 平田省三※ |
| 取締役監査等委員 | 横山和彦※ |

(注) ※印は社外取締役であります。

株 主 メ モ

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同 連 絡 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL：0120-232-711 (通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告 (http://www.kasai.co.jp/) やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞 |

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●ホームページのご案内

企業活動全般の情報や決算発表資料等を適時掲載しておりますので、是非ご活用ください。

<http://www.kasai.co.jp/>



KASAI KOGYO CO., LTD.

**UD
FONT**

**VEGETABLE
OIL INK**